

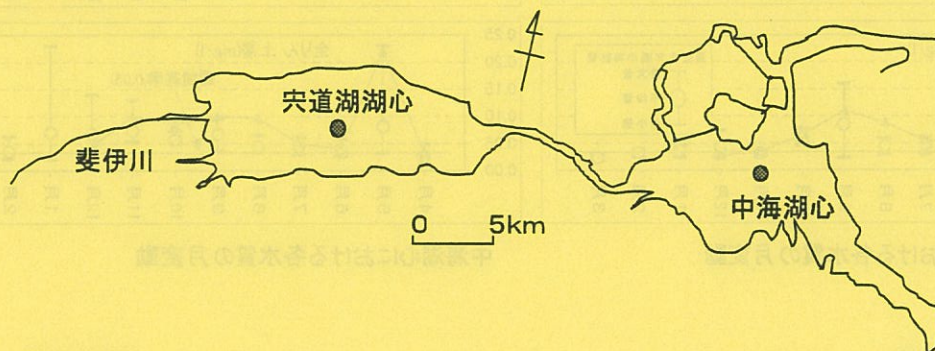
# 輝水だより (第12号)

[問い合わせ先]島根県環境生活部環境政策課

課長補佐 安田 22-5562

平成 10 年 12 月の宍道湖・中海の水質の状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

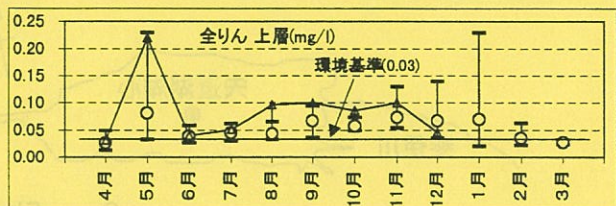
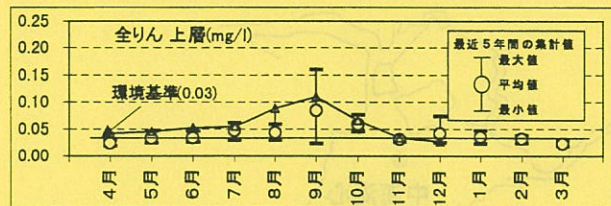
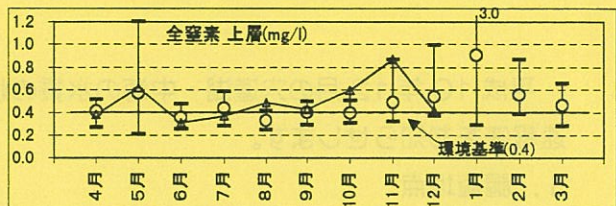
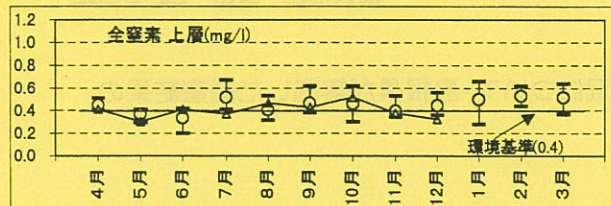
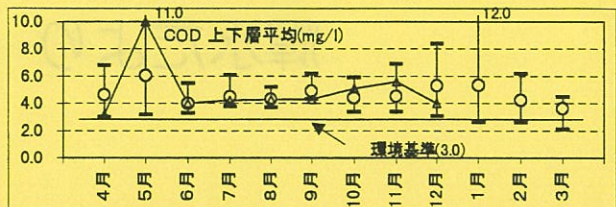
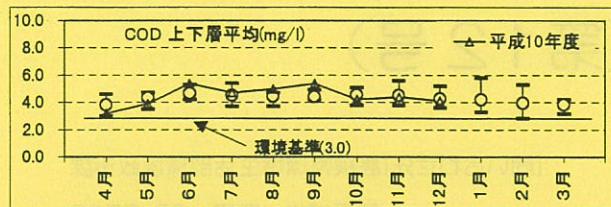
## 1. 調査地点



## 2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成5年度～9年度)の同月と比べると、COD及び全リンは平均値よりも低く、全窒素は最も低い値を示しました。また、宍道湖全域の観測によると、西部でアオコが確認され、湖の中心部で下層の貧酸素化現象がみられました。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、COD、全窒素及び全リンは平均値よりも低い値でした。また、中海における島根県域の観測によると、安来港で赤潮が確認されました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考] 平成9年度平均	
			10月	11月	12月	10月	11月	12月	宍道湖	中海
水温(上層)	°C	—	25.3	15.1	9.6	23.4	16.3	11.0	—	—
pH(上層)		6.5～8.5	8.1	8.7	8.1	8.8	9.1	8.6	—	—
COD(上下層平均)	mg/l	3以下	4.2	4.4	4.1	5.1	5.6	4.0	4.4	4.3
SS(上層)	mg/l	5以下	4	6	4	7	10	5	6	7
DO(上層)	mg/l	7.5以上	8.5	10	10	9.8	10	11	9.9	9.5
DO(下層)	mg/l	7.5以上	5.4	8.6	<0.5	0.5	0.5	2.7	9.0	4.1
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.52	0.38	0.32	0.60	0.87	0.42	0.51	0.49
全リン(上層)	mg/l	0.03以下	0.066	0.034	0.027	0.086	0.10	0.046	0.050	0.052
Cl(上層)	mg/l	—	1300	1100	1300	6000	7200	9900	1200	6800
Cl(下層)	mg/l	—	2100	1600	5300	16000	16000	15000	1300	14000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	15	27	9.6	16	38	15	25	15



中央湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんと同様にプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は18800mg/lです。